

【案件 No.10775】 HILLTOP に続け！ シリコンバレーへの進出を希望する受注企業の探索

案件概要	世界のトップ企業がしのぎを削るシリコンバレーで試作加工段階から入り込み「最強の日本ものづくりセンター」の構築を目指すため、経済産業省が主導する「素形材ミッション・ネクスト」への参加に興味のある企業には手を挙げて頂きたい。
発注企業	経済産業省
受付期限	2017年10月13日（金）
発注予想規模	—
発注予想時期	—
パートナー像	<input type="checkbox"/> 大学／研究機関 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 専門家／個人コンサル <input type="checkbox"/> 研究／開発 <input checked="" type="checkbox"/> 設計／試作対応 <input type="checkbox"/> 量産対応 <input type="checkbox"/> アフターサポート
連携イメージ	経済産業省より進出先企業への将来的な支援可能性

<案件内容>

1) 探索の背景

- ・ 近年、シリコンバレーで生まれたアイデアを中国で量産するエコシステムがトレンドになりつつあり、ここに日本の存在は消失している。アイデアを形にする上でプロトタイプ等の試作加工のニーズはシリコンバレーでも多数あり、3000社ほどのものづくり中小企業が同地には存在している。しかし、これまでは技術や品質に優れる日本の中小企業でも対応スピードなどの問題から同地に進出できた企業はほぼ皆無という状況。
- ・ そこで経済産業省は、国内素形材産業（試作加工産業）を支援するため、シリコンバレーに進出して成功を収めた京都宇治の試作メーカーである HILLTOP 株式会社（注）に続く、第二第三の企業を作り出したいと考えている。
 - （注） HILLTOP 社は今回日本国内のものづくり中小企業という意味では唯一とっていいほどカリフォルニアに進出し、シリコンバレーをベースにしたハードウェアスタートアップ企業、および政府系研究機関や先端企業にアルミ加工品を納めて売上を急拡大させているが、アルミ加工以外にもステンレス、板金加工、チタン加工のニーズが非常に多く、同社だけではかなり多くの需要を取りこぼしている状況にある。
- ・ 試作加工分野は国内中小企業の強みが生かせ、かつ試作加工品中心の為利益率も高く、カリフォルニア州だけでも大きな需要が見込める。また、世界のトレンドを作るシリコンバレー企業の試作を請け負うということは次世代のトレンドを誰よりも早く知るきっかけとなる。経済産業省としてはシリコンバレーに HILLTOP のような企業をさらに集積させてバリューチェーンを補完し、日本のトータルでの高品質な試作開発力を米国にて展開し、ひいては「日本ものづくりセンター（仮称）」をシリコンバレーに立ち上げたいと考えている。

（経済産業省 Website）

http://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/mono/sokeizai/siliconvalleymissiontop.html

2) 探索の概要

- ・ そこで今回、米国進出を試験に検討している国内ものづくり中小企業に、マーケットポテンシャルの高さ、および具体的なオペレーションイメージを具体的につかんでいただくため、まずは派遣ミッションプログラムを行う。
- ・ 具体的には以下のような内容。(添付資料もご参照ください)
 - 先駆企業との OJT
 - シリコンバレーで成功した先駆企業 (Hilltop 社) のケーススタディ
 - 平成 30 年 1 月 22 日週 (3 日間程度) に、Hilltop 社の商談現場に同行。現場のスピード感、顧客の重視する内容などを体験。
 - シリコンバレーでのビジネス経験豊富なコンサルタントからの講義や個別指導
 - 平成 29 年 11 月 30 日・12 月 1 日に、プレゼンテーションセミナー、個別指導等を開催。
 - ミッションまでの間に、プラットフォーム CDR 等から必要な情報提供、面談等も実施。
- ・ 本プログラムの旅費交通費等の経費については参加者の負担となるが、経済産業省としてはミッション参加企業に対して今後様々な形でサポートを行う予定。
- ・ そのため、本ミッションはシリコンバレー等での事業展開 (現地進出や新規取引開始等) を本気でお考えの企業向けのミッションであり、参加申込多数の場合は、事前に作成いただく資料等を基に参加企業を選定させていただく場合や、今回が初参加の企業を優先させていただく場合があります。

3) 参考情報

- ・ ヒルトップの成功要因は、以下のように分析されている。
 - ① 見積もりまでの期間が、日本を活用することにより極めて短いこと (基本 2 4 時間以内)
 - ② 図面から機械加工に落とすプログラムの設計はすべて日本で行い、米国では熟練作業者を必要としないこと
 - ③ 基本納入期間が 1 週間以内と極めて短いこと
 - ④ 一品もの、数百ドル単位から加工可能で、超多品種少量生産を実現していること
 - ⑤ それでいい、日本品質を維持できていること ⑥ また試作加工品のため、基本言い値で商売ができていること (高利益率を実現)

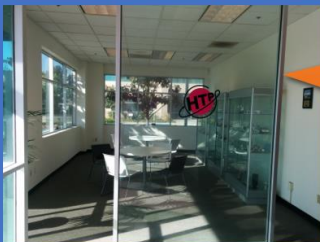
<参考イメージ>

【HILLTOP株式会社の成功事例】

米国法人設立からわずか3年半で、米国大手IT企業から優良ベンチャー企業、
米国政府機関まで顧客数は250機関を突破！！



業績好調のため
2017年1月にシリコンバレー
オフィスをオープン。



シリコンバレーの主要企業から
数多くの依頼が舞い込む。

日本製の5軸工作機械を設置、シリコンバレー
のお客の超多品種少量生産に迅速に対応。
さらに、生産ラインの増設を予定。



事務局の担当者宛にメールでご送付 (admin@linkers.net)